

二国間エネルギー・先端素材分野協力促進のためのカザフ企業連続プレゼンテーション
**第3回「カザフスタンの気候変動対策・炭素市場・産業脱炭素化における
 日本企業との協力可能性」**

2026年7月21日（火）

時間	プログラム
15:00-15:05	■ モデレータ開会挨拶 輪島 実樹 （一社）ROTOBO ロシアNIS経済研究所 副所長兼部長
15:05-15:10	■カザフスタン側代表挨拶「『ジャシル・ダム』社のご紹介および 本日のプレゼンテーションの目的について」 ボタゴズ・アフメトヴァ ジャシル・ダム社 マネージング・ディレクター
15:10-15:30	■報告1「NDCから2060年カーボンニュートラル達成戦略に至る カザフスタンの気候変動政策の歩みと過程で得た教訓」 ルスタム・ナシルハン ジャシル・ダム社 モデリング・分析・予測部長
15:30-15:50	■報告2「カザフスタンの排出量取引制度 —カザフスタンにおける温室効果ガス排出規制の仕組み—」 ダニヤル・ジャマロフ ジャシル・ダム社 排出権取引制度部長
15:50-16:10	■報告3「産業界の具体的な排出削減計画 —ETS対象企業の脱炭素化計画のパイロット調査とMACC曲線による対策別費用評価—」 ルスタム・ナシルハン ジャシル・ダム社 モデリング・分析・予測部長
16:10-16:30	■ 質疑応答／閉会

■□■ 参考情報 ■□■

◆株式会社「ジャシル・ダム」(Zhasyi Damu JSC)

2012年7月26日付政府決定第978号に基づき、共和国国営企業「カザフスタン環境・気候研究所」を改組する形で設立された環境・天然資源省傘下の国営株式会社で、カザフスタンの環境政策および気候変動政策を担う中核機関の一つ。

2013年1月に開始されたカザフスタン排出量取引制度（KAZ ETS）の実施機関として、カーボン・レジストリおよび予備枠（リザーブ）の管理・運営を担当する。また、カザフスタンの「国家インベントリ年次報告書」を作成する認定機関であり、企業による排出量報告の遵守状況を監督するGHG（温室効果ガス）プログラムの管理者でもある。

リサイクル分野においては、同分野における投資プロジェクトへの優遇融資の提供や国内17か所の有害廃棄物保管・処理施設の管理を行う。また、国民の環境意識向上にも取り組んでおり、環境保護への市民参加を促す大統領主導の「Taza Kazakhstan（クリーン・カザフスタン）」イニシアチブを支援している。